什事の振り返りシート(令和5年度実施分) 令和6年6月28日 作成•更新日 事業名 渡良瀬川クリーン運動協議会参画事業 市長公約 該当なし 総合戦略 -般事業 実施計画事業or一般事業 該当なし 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当なし コンパクトシティ 該当なし スマートシティ 該当なし 1. 基本情報 都市建設部 単年度繰り返し 部 予算中事業名 会計 一般事業計画 担当組織 課 道路河川課 予算 款 8 新規or継続 継続事業 渡良瀬川クリーン運動協議会参画事業 管理係 科目 項 3 市単独or国県補助 市単独事業 係 名称 1 義務or任意 任意的事業 体系コード 612 根拠法令、条例等 目 直営 基本目標 美しい自然、環境と調和するまちづくり 事業 開始年度 H9 実施方法 政策体系 渡良瀬川クリーン運動協議会規則 期間 終了年度 支援事業 政策 1 環境にやさしいまちづくり 事業分類 施策 2 良好な生活環境と豊かな自然環境の保全 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値 (1) 事業概要 渡良瀬川クリーン運動協議会に構成員として参加し、会費として負担金を支出する。協議会主催の会議に出席し、毎年5月に渡良瀬川一斉清掃を実施する。 事業概要 ※渡良瀬川クリーン運動協議会とは、渡良瀬川流域の河川環境を確保することを目的とし、渡良瀬川河川事務所、群馬県・栃木県の出先機関、沿川市町、漁 業組合を会員として構成する団体である。 (2)目的 (3)目標値 単位 R3 R4 R5 R6 R7 効果指標 日的 参加人数(市内) 400 400 400 400 400 (本事業に 渡良瀬川一斉清掃に市民が参加することにより、河川環境保全の ゴミ収集料(市内、2 tトラック) 4 台 4 4 4 4 よって成し 重要性が意識付けされ、河川環境を保全する活動が促進される。 遂げたい 状態) 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明 (1)活動実績 (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移 活動指標 単位 R4 R5 活動回数 2 2 1 (市の活動) 渡良瀬川クリーン運動協議会の会員として参画し、負担金を支 活動実績 出。毎年、5月に市内3箇所を会場に、渡良瀬川一斉清掃を実 (R5年度に 行った主な活 施。本年度は雨天により中止。 0 事業費計 0 0 千円 動内容) (渡良瀬川クリーン運動協議会の活動) 一般財源 千円 0 0 n 会議(1/年)を主催し、渡良瀬川一斉清掃を統括している。 千円 0 特定財源(国·県·他) 0 0 千円 0 0 0 (うち受益者負担) (3)活動による効果 (4) 事業効果を説明する数値データの推移 し選択して下さい R4とR5の比較 R4 R5 指標の性質 効果指標 単位 R3 効果は変わらない 参加人数(市内) 0 0 0 値が大きいほど良い 効果説明 - 斉清掃が中止となったため、渡良瀬川流域の河川環境の確保 ゴミ収集料(市内、2 tトラック) 0 0 値が大きいほど良い 効果は変わらない 台 (定量及び が図られなかった。 定性) (5) 費用対効果結果(自動判定) 費用(R5とR4の一般財源増減) 費用の増減無し 効果 ※10万円以上の増減により判断 効果が上がった指標数 0指標 効果が上がった 効果は変わらない 効果が下がつ 効果 効果は変わらない指標数 費用は下がった 費 (R5とR4の) 効果が下がった指標数 費用の増減無 指標值増減) 用 指標全体 効果は変わらない 費用が増加した 4. 次年度に向けた検討 (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

本年度は雨天により活動が中止となった。		

(つ) ⊢≕ (省占乃バ課題を踏ま	ラた 今和6年月	安乃が今和 フ	年度の取組

事業の在り方検討	(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)

事業効果を上げるための事務改善の検討 П

П 事業費の見直し検討

業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

作成•更新日 令和6年8月9日

事業名とちぎ環境・みどり推進機構参画事業 一般事業 市長公約 該当なし 総合戦略 該当なし 実施計画事業or一般事業 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当あり コンパクトシティ 該当なし スマートシティ 該当なし 1. 基本情報 産業文化スポーツ部 単年度繰り返し 部 予算中事業名 会計 一般事業計画 担当組織 課 農山漁村地域整備 予算 款 6 新規or継続 継続事業 とちぎ環境・みどり推進機構参画事業 森林整備係 科目 項 2 市単独の国界補助 市単独事業 係 名称 根拠法令、条例等 1 義務or任意 任意的事業 体系コード 612 目 開始年度 直営 基本目標 6 美しい自然、環境と調和するまちづくり 事業 S25 実施方法 政策体系 期間終了年度 1 環境にやさしいまちづくり 事業分類 施設維持管理事業 政策 施策 2 良好な生活環境と豊かな自然環境の保全 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値 (1) 事業概要

事業概要

栃木県内の市町や林業関係団体等が会員となって、県域の緑づくり・森づくり業務、林業労働力対策に取り組む団体として、森林の保全・整備事業や林業労働 力の確保・育成事業などを実施している。

(2)目的

(3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
	緑づくりの普及啓発により森林を守り育て、またみどりを大切にするこ		ha	10	10	10	10	
(本事業に	とへの理解の促進、市民協働による森づくりの推進。森林施業技術							
よって成し 遂げたい	習得への支援などを行うことにより、安定的な林業労働力の確保を							
状態)	目的とする。							
B 1101y								

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(=) , 113	257 (150		,,,,,	3 7 () ()	<u> </u>	
		活動指標	単位	R3	R4	R5
		会員数	人	106	106	105
\	森林・山村多面的機能発揮対策の活動支援 申請団体 仙波の森を守る会					
活動実績 (R5年度に	1 5 m 1 T 4 th 1 A					
行った主な活動内容)		事業費計	千円	62	61	61
#JI 107	森林・山村多面的機能発揮事業の情報の提供 『森林経営管理制度事業』等の研修会	一般財源	千円	62	61	61
		特定財源(国·県·他)	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

+L CD = H 10	森林整備に関わる啓発活や理解促進により、森づくりを推進し、国	里山林整備面積
効果説明	林州金浦に因りる古光石で生所促進により、林ノバグで推進し、国	
(定量及び	土の保全と林業基盤の整備を図るもので、地域の活動団体では、	
(//		
定性)	里山林整備において市の負担額以上の作業を行っている。	

	※ 対策指標	甲似	K3	K4	K5	指標の性質	R4とR5の比較	
E	里山林整備面積	ha	16	20	15	値が大きいほど良い	効果が下がった	
띄								

(5)費用対効果結果(自動判定)

	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
効果	効果が上がった指標数	0指標
(001010	効果は変わらない指標数	0指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	1指標
指標值増減)	指標全体	効果が下がった

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し			0
用	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

森林の持つ機能を市民に理解いただき、今後ますます高まる森林整備の必要性の啓発を行い、里山林の整備等を市民の参画や協働により進めていく。

(2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

事業の在り方検討	(廃止	休止	再編成	受益者負担の目直しかど	')

☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

森林機能や森林整備についての周知を充実させる。

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

作成・更新日 令和6年8月9日

11尹	しりが及り	ルベリン	/一ト(7445年段	关心力)			1 F.	风•史机口	ТЭЙЦО	平0月9日
事業名	葛生森林	林公園管理		実施計画事業or一般事業	— <i>j</i>	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情										
	部	産業文化ス		予算中事業名		会計		事業計画		繰り返し
	課	農山村振興		葛生森林公園管理事業	予算			新規or継続		事業
	係	森林整備係			科目					虫事業
	体系コード	612		根拠法令、条例等	= ***	目	_	義務or任意		的事業 /季記
政策体系	基本目標		美しい自然、環境と調和するまちづくり	/		開始年度	H8	実施方法		委託
	政策 施策		環境にやさしいまちづくり 良好な生活環境と豊かな自然環境の保全	佐野市葛生森林公園条例	期間	終了年度	<u> </u>	事業分類	施設維持	官埋事業
	既要と目的及		画期間内)目標値							
事業概要		緑豊かな生活 管理の委託を	環境・自然環境の保全を図り、森林レクリ を行う。	エーションや自然体験学習、健康	東づくりの	場を提供す	「るため、公	園内の除草	፮及びトイレ	清掃の委
(2)目的	勺			(3)目標値						
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				施設に安全性に対する苦情	件	0	0	0	0	0
(本事業に よって成し			快適かつ安全な利用できる状態に維持し、 							
遂げたい	豊かな目然 	生態系の保証	全、再生を図る。							
状態)							 			
							<u> </u>			<u> </u>
3. 前年度	きの実績 (流	舌動及び費用]対効果)説明							
(1)活動				(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	が事業費の!	准移			
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				施設の修繕件数	件	1	1	1		
	葛生森林公	3園の維持管	理							
活動実績		D除草業務委	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·							
(R5年度に 行った主な活	・トイレ清		トイレ清掃 週1回	古世書刊	7 m	1 015	1 500	1 170		
動内容)			ごみの運搬 月1回	事業費計	千円	1,015	1,582	1,179	ĺ	
	・浄化槽筒	管理業務委託	£ 定期点検	一般財源	千円		53	463		
				特定財源(国·県·他)	千円	1,015	1,529	716		
					千円	,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			
				(うち受益者負担)	十口				l	
(3)活動	かによる効果			(4)事業効果を説明する数	な値デー	タの推移			↓選択して	こ下さい
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
効果説明				施設に安全性に対する苦情	件	0	0	0	値が小さいほど良い	効果は変わらない
が未 武功 (定量及び			利用を確保するために必要な維持管理業				<u> </u>	<u> </u>		
定性)	務を委託に	より実施し、性	央適な利用を確保している。							
							 			
(5)費用	用対効果結果	果(自動判定	Ē)	_						-
	とR4の一般		費用が増加した	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が	った指標数 らない指標数				費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の		つない相信数 うた指標数	0指標	-	費	費用の増減無し				
指標値増減)	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	指標全体	効果は変わらない	j	用	費用が増加した		0		
(1) 令和		事業実施にお	ける反省点、環境変化や関係者からの意見 するために必要な業務を委託により実施して					・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 ĭa.	
(2) ⊢≕	2万少占757	『言里見百 た 兄水士・	えた、令和6年度及び令和7年度の取組							
(乙/ 上司	以日出汉(が、一体とは、	へに、74404区メンフ41/4反の以外	取組説明						
П	事業の在り	方検討 (廃止	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)	-1V417TIN0-47						
			事務改善の検討							

作成•更新日 令和6年8月2日

事業名 クビアカツヤカミキリ対策事業 市長公約 該当なし 総合戦略 該当なし 実施計画事業 実施計画事業or一般事業 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当あり コンパクトシティ 該当なし スマートシティ 該当なし

1. 基本情報

	部	市民生活部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
担当組織	課	環境政策課		クビアカツヤカミキリ対策事業	予算	款	4	新規or継続	継続事業
	係	環境係		707 707 705 47 77 77 78 1		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
	体系コード	612	名称	根拠法令、条例等		皿	6	義務or任意	任意的事業
政策体系	基本目標	6	美しい自然、環境と調和するまちづくり	佐野市クビアカツヤカミキリ被害木伐採費		開始年度	R5	実施方法	直営
IXXX PT/IX	政策	1	「塚境に「こしいようノバン	土1) 被害対策会議設置亜綱		終了年度		事業分類	現金等給付事業
	施策	2	良好な生活環境と豊かな自然環境の保全						

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

特定外来生物クビアカツヤカミキリの被害に対し、防除用の薬剤やネットの貸出、また、被害木に対する伐採費等の補助を行う。

事業概要 【補助内容】

被害木の伐採、運搬、処分費に対する補助。(営利法人以外) 支出金額×2/3(上限20万円)、(個人) 支出金額×2/3(上限10万円)

(2)目的

(3)目標値

			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
	目的		被害樹木	本			799		
,	本事業に		被害樹木伐採報告本数	本			259		
	よって成し 遂げたい	特定外来生物クビアカツヤカミキリ対策の強化	防除用の薬剤配付及びネット貸出の申請	件			82	85	90
•	状態)]	補助金交付申請件数	件			54	40	45
	,								

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(I / /L) ±	50大惊		7人() 子来兵の正()				
		活動指標	単位	R3	R4	R5	
活動実績 (R5年度に		防除用の薬剤配付及びネット貸出の申請	件			82	
		補助金交付申請件数	件			54	
	防除用の薬剤配付及びネット貸出の申請の受理 被害木の伐採費等へ補助金交付申請の受理						
行った王な古	版書本のな珠真寺へ補助金文的中間の支達 広報さの、市HP、チラシによる注意喚起	事業費計	千円	0	0	11,424	
±013C1		一般財源	千円			6,616	
		特定財源(国·県·他)	千円			4,808	
		(うち受益者負担)	千円				

(3) 活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

		効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
効果説明		被害樹木	本			799	値が小さいほど良い	効果が下がった
	特定外来生物クビアカツヤカミキリ対策の必要性が理解され、被害	被害樹木伐採報告本数	本			259		
(定量及び 定性)	樹木が減少する。	防除用の薬剤配付及びネット貸出の申請	件			82		
ÆIL)		補助金交付申請件数	件			54		

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用が増加した
効果	効果が上がった指標数	0指標
	効果は変わらない指標数	0指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	1指標
指標値増減)	指標全体	効果が下がった

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し			
用	費用が増加した			0

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特定外来生物クビアカツヤカミキリによる被害は県内においても拡大しており、早期発見と効果的な防除対策の強化が急務である。

(2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

	事業の在り方検討	(廃止、休止、再編)	成、受益者負担の見直しなど)
--	----------	------------	----------------

☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

-		1=1	,
н	ロムト		掤
- Н	人小上	16刀	ιчл

補助率の拡充について検討する。

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

作成・更新日 令和6年8月2日

11111				. — ((((((((((((((((((,		
事業名	環境審調	議会運営事	 業	実施計画事業or一般事業	— f	投事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
	!			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし	
1. 基本情	青報 部	市民生活部		予算中事業名		会計		事業計画	単年度	給り; 石1	
担当組織	課	環境政策課			予算	款		新規or継続	継続		
	係	環境係		環境審議会運営事業	科目		-	市単独or国県補助	市単独		
	体系コード	612	名称	根拠法令、条例等		目	5	義務or任意	任意的		
政策体系	基本目標	6	美しい自然、環境と調和するまちづくり	環境基本法、佐野市環境基		開始年度		実施方法	直		
	政策		環境にやさしいまちづくり	本条例	期間	終了年度	_	事業分類	審議会等	運営事業	
	施策	2	良好な生活環境と豊かな自然環境の保全								
2. 事業 概 (1)事第		とび (基本計	画期間内)目標値								
事業概要	事業概要 環境基本法第44条および環境基本条例第24条に基づく審議会を設置し、環境基本計画に関すること等を調査審議する。										
(2)目的	d			(3)目標値							
(= / =				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7	
目的				住んでいる地域が、快適で住みやすい地域であると思う市民	%	79.0	80.0	81.0	82.0	83.0	
(本事業によって成し			と等を調査審議することにより、環境を保	場であることが							
遂げたい	全し、環境	行政の推進を	図る。								
状態)											
3. 前年度 (1)活動		舌動及び費用	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及し	が事業費の打	准移				
				活動指標	単位	R3	R4	R5			
				会議の開催		1	1	1			
				会議における審議事項数	件	4	3	2			
活動実績				公成(2007) 公田成争块数	11						
•			、佐野市役所6階大会議室において、								
行った王な活動内容)	会議を開催	した。(委員	14名)	事業費計	千円	99	91	61			
231 3117				一般財源	千円	99	91	61			
				特定財源(国・県・他)	千円						
				(うち受益者負担)	千円						
				(, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,							
(3)活動	めによる効果 I	:		(4)事業効果を説明する数			D4	DE	→選択して 指標の性質	-	
				効果指標 住んでいる地域が、快適で住みやすい地	単位	R3	R4	R5			
効果説明	 住んでいる!	地域が. 快滴 [*]	で住みやすい地域であると思う市民が増え	域であると思う市民	%	81.4	80.2	79.7	値が大きいほど良い	効果かトかった	
(定量及び	る。	2 7/13 ()/(2									
定性)											
(5)費用	用対効果結果	果(自動判定	<u>:</u>)								
	とR4の一般		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果			
効果	効果が上が	った指標数 らない指標数	0指標			典田は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった		
(R5とR4の		った指標数	0指標 1指標		費	費用は下がった 費用の増減無し			0		
指標値増減)		指標全体	効果が下がった		用	費用が増加した					
(1) 令和	度に向けた核 ①5年度の のため、特にな	事業実施におり	ける反省点、環境変化や関係者からの意見	見等を踏まえた検討課題、費用え	対効果に	句上のための	D課題				
(2)上記	己反省点及び	グ課題を踏まえ	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明							
		上げるための	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討	ペイルエロバッグ J							
	業務時間效	か率化のための	事務改善の検討								

□ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)

☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

□ 事業費の見直し検討

1工事	り拡い	ルベリン	ノート(令和5年度	夫他分)			1/F <i>)</i>	灭・更新日	дМст	年8月2日
事業名	森林環境	美学習事業	•	実施計画事業or一般事業	実施	計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情		ナロルズが		7 kk + ± 44 f		0 = 1	40.	± 114 = 1 =	W 4- ct	48 IO SEL
	部	市民生活部		予算中事業名	~~	会計		事業計画		繰り返し
担当組織	課	環境政策課		森林環境学習事業	予算	款	4	新規or継続 市単独or国県補助		事業
	係 体系コード	環境係 612	名称	根拠法令、条例等	科目	<u>項</u> 目		義務or任意		独事業 的事業
	基本目標		美しい自然、環境と調和するまちづくり	似是因为、未例号	事業	開始年度		実施方法		··· ·································
政策体系	政策		環境にやさしいまちづくり	_		終了年度	HZ1	事業分類		
	施策		良好な生活環境と豊かな自然環境の保全		741[1]	松] 牛皮		尹耒刀規	1/1/1/	州性尹未
2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値 (1)事業概要 事業概要 森林観察会、生き物観察会等を開催する。										
(2)目的	<u>โ</u>			 (3)目標値						
(2) 👓	, 			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的	木业知宛/	\ ++\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	ᇶᄼᅉᆉᄝᇎᅮᅠᅕᄔᇷᆚᄓᆣᅝᅌᄱᄪ	講座の開催回数		2	2	5	5	5
(本事業に			察会等を通して、森林の大切さや自然環 『るとともに、その重要性・大切さを理解して	自然環境が良好と考えている市民の割合	%	63.7	64.6	65.5	66.4	67.3
よって成し 遂げたい	もらう。	忠誠同物で区	ることでは、この重要は、人切らを達解して							
状態)										
										<u> </u>
3. 前年 原(1)活動		舌動及び費用	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	が事業費の持	隹移			
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				森林観察会の参加者数	人	0	0	35		
				生き物観察会の参加者数	人	38	45	90		
活動実績 (R5年度に	森林観察会	会、生き物観察	察会(ホタルの観察会、セミの羽化観察							
	会、野鳥の	観察会)を開	見催した。	事業費計	千円	113	215	350		
動内容)				一般財源	千円					
						112	215	250		
				特定財源(国・県・他)	千円	113	215	350		
				(うち受益者負担)	千円					
(3) 汪重	めによる効果			(4) 事業効果を説明する数	がはデー	クの推移			↓選択して	て下さい
(3) /山主	*)ICO 0////			効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	
				講座の開催回数		2	2	4	値が大きいほど良い	効果が上がった
効果説明	白み理培女	÷+π/=+= ≥ .≥	が会はされる	自然環境が良好と考えている市民の割合	%	66.4	67.0	68.1	値が大きいほど良い	効果が上がった
(定量及び 定性)	日然場場で	- 人別に9 a/L	が育成される。							
~=:-/										
(5)費用	用対効果結果	果(自動判定	≣)							
費用(R5	とR4の一般			※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が	らた指標数 らない指標数	2指標			#######-+	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の	効果が下が		0指標 		費	費用は下がった				
指標値増減)		指標全体	効果が上がった]	用	費用が増加した]
	度に向けた検 ①5年度の		ける反省点、環境変化や関係者からの意見	見等を踏まえた検討課題、費用え	対効果(句上のための)課題			
令和 5 年度 	度は、予定ど	おり森林観察	会や生き物観察会を開催したが、令和4年	F度までコロナ禍で中止していた。 	こともあり)、参加者(。	定員に達	しなかった。		
(2) 上語	こ反省点及で	グ課題を踏まえ	えた、令和6年度及び令和7年度の取組							

取組説明

広報を強化する。

作成•更新日 令和6年8月9日

事業名 森林等ナラ枯れ被害対策事業 実施計画事業or一般事業 実施計画事業 市長公約 該当なし 総合戦略 該当なし 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当あり コンパクトシティ 該当なし スマートシティ 該当なし

1. 基本情報

		部	産業文化ス	ポーツ部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
担当組織		課	農山村振興	課	森林等ナラ枯れ被害対策事業	予算	款	6	新規or継続	継続事業
		係	森林整備係		林林寺)が加い版書対象事業		項	2	市単独or国県補助	市単独事業
		体系コード	612	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的事業
	政策体系	基本目標	6	美しい自然、環境と調和するまちづくり		事業	開始年度	R4	実施方法	一部委託
	IXXX PT/IX	政策	1	環境にやさしいまちづくり	森林病害虫等防除法	期間	終了年度		事業分類	施設維持管理事業
		施策	2	良好な生活環境と豊かな自然環境の保全						

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

(2)目的 (3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的		対策樹木本数	本		42	60	60	50
(本事業に	ナラ枯れ被害樹木に防除対策を実施し、健全で木材生産機能の	市内の木材伐採面積	ha	675	300	386	472	558
よって成し 遂げたい	高い森林を創出する							
状態)								
,								

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(=) , , ,		(=) (=)	,,,,,	3 7/1/2 (- 3		
		活動指標	単位	R3	R4	R5
		対策樹木本数	本		42	12
\7.31 ch/ct	対策を実施	被害樹木本数	本		42	12
活動実績 (R5年度に		対策樹木本数/被害樹木本数	%		100	100
行った主な活 動内容)		事業費計	千円	0	1,078	1,416
±// 10 /		一般財源	千円			
		特定財源(国·県·他)	千円		1,078	1,416
		(うち受益者負担)	千円			

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

		効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
*********		対策樹木本数	ha		42	12	値が小さいほど良い	効果が上がった
効果説明 /宝号です	被害の報告を受けた樹木について、適正な方法により処理すること	市内の木材伐採面積	ha	342.6	312.0	330.2	値が大きいほど良い	効果が上がった
	ができた。							
XLIL)								

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	
効果	効果が上がった指標数	2指標
(551515	効果は変わらない指標数	0指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標值増減)	指標全体	効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し			
用	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和4年度からナラ枯れ被害樹木の防除対策を継続して行っているが、令和5年度は対策が必要な樹木が減少した。ナラ枯れ対策は栃木県と連携した取り組みが必要であることから、市内公共施設における被害状況の把握し適切な処理を行い、市内及び県内へのまん延防止対策を行う。

(2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

事業の在り方検討	(廃止 は	kir 再編成	受益者負担の目直した	いど)

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

栃木県の対策方針及び、市内の被害状況の把握と情報共有を行い対策を継続する。

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

□ 事業費の見直し検討

仕事	の振り)返りシ	/一ト(令相 5 年度	美施分)			作	成・更新日	令和6	年8月2日
事業名	佐野市源	度良瀬川に	サケを放す会支援事業	実施計画事業or一般事業	— <u></u>	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情		十口牛汀如		7. 本本地方		_=I	ήΠ.	±#=1-	光左库	4 □ Δ)□
担当組織	部課	市民生活部環境政策課		予算中事業名 佐野市渡良瀬川にサケを放	マ 笞	会計		事業計画		繰り返し 事業
1231社市政	<u>誄</u> 係	環境 環境係		は野巾疫民瀬川にりりを放す会支援事業	予算 科目		4	新規or継続 市単独or国県補助		净来 虫事業
	体系コード	612	名称	根拠法令、条例等	171	目	<u>+</u>	義務or任意		为事来 内事業
	基本目標		美しい自然、環境と調和するまちづくり	120/212 15 (>10/) 13	事業	開始年度		実施方法		<u></u> 営
政策体系	政策		環境にやさしいまちづくり			終了年度		事業分類	支援	事業
	施策		良好な生活環境と豊かな自然環境の保全			113 112		3 31033740		
2. 事業 机 (1) 事業		ひで(基本計	画期間内)目標値							
事業概要	佐野市渡島	良瀬川にサケを	を放す会に補助金を交付し、サケの稚魚の一	- 斉放流活動を支援している。						
(2)目的	内			(3)目標値				ı		ı
目的	 	与油石川ルー┴┴─→	このなるのである。アーウルロ共ばそし	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
(本事業に			を放す会の活動を通して、自然保護活動と と体的には、渡良瀬川の浄化を目指すとと	自然環境が良好と考えている市民の割合	%	63.7	64.6	65.5	66.4	67.3
よって成し			れ合うことをとおし、生き物を育てる心を養							
遂げたい 状態)			守ることの意識の向上を図る。							
7.76.7										
3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明 (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移										
				活動指標 	単位	R3	R4	R5		
				サケの卵の配布回数		1	1	1		
				サケの稚魚の配布回数		1	1	1		
活動実績		良瀬川にサケを	な放す会に補助金を交付した。							
(R5年度に 行った主な活	【红红红		ケを放す会は、サケの卵を配布し、サケの稚		4 m	20	20	20		
動内容)	魚を放流し	た。)		事業費計	千円	28	28	28		
				一般財源	千円	28	28	28		
				特定財源(国·県·他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
(-)										
(3)活動	動による効果 T			(4)事業効果を説明する数 効果指標	単位		R4	DE	↓選択して	
				対入を担信を 自然環境が良好と考えている市民の割合	半位 %	R3 66.4	67.3	R5 68.1	指標の注負 値が大きいほど良い	R4とR5の比較 効果が上がった
効果説明	# 1. 1. * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	T# \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	I MARAGO EXIC STREET	70	00.4	07.5	00.1		793703 117 370
(定量及び 定性)	豊かな自然	塚境が保全、	再生されている。							
LIL)										
(5)費月	用対効果結果	果(自動判定	≣)	_		_				_
費用(R5	とR4の一般		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が効果は変わ	った指標数 らない指標数	1指標 0指標		弗	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の 指標値増減)	効果が下が	うた指標数	0指標		費 用	費用の増減無し	0			
July III III		指標全体	効果が上がった		/13	費用が増加した				
_	度に向けた検 和 5 年度の事		ける反省点、環境変化や関係者からの意見	見等を踏まえた検討課題、費用え	対効果に	句上のための)課題			
近年、サケ	の遡上が少な	なくなっている。								
(2) F≣	记反省占及7	/ 課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組							
(= /				取組説明						
	事業の在り	方検討(廃止	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)							

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

1工事	り抜り	ルベリン	ノート(令和5年度	美地分)			作	或・更新日	令和6	年8月9日
事業名	保安林位	战採許可等	事務	実施計画事業or一般事業		般事業 「			総合戦略	
1. 基本情	吉邨			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 坐本	部	産業文化スプ	 ポーツ部	予算中事業名		会計		事業計画	単年度	繰り返し
担当組織	課	農山村振興	課		予算	款		新規or継続	継続	事業
	係	森林整備係			科目	項		市単独or国県補助		虫事業
	体系コード	612	名称	根拠法令、条例等		目		義務or任意		的事業
政策体系	基本目標		美しい自然、環境と調和するまちづくり	本++:+		開始年度		実施方法		営
	政策 施策		環境にやさしいまちづくり 良好な生活環境と豊かな自然環境の保全	森林法	期間	終了年度		事業分類	計認可・	審査事務
2. 事業 (1)事第	既要と目的及 後概要	とび(基本計	画期間内)目標値 能の維持増進のため、森林法では伐採及で	 	ハスように	・		D形質変更	 をする際 j	
事業概要	許可申請を	さすることとなっ						<i></i>		<u> </u>
(2)目的	<u>ጎ</u>			(3)目標値						
目的				効果指標 (出生度)	単位	R3	R4	R5	R6	R7
(本事業に	代坯笠を割	限 健全お	森林資源及び森林機能の維持増進を図	間伐実施面積(単年度)	ha	609	270	345	420	495
よって成し	る。	別以び、陸土な	林仲貞原及日林仲成祀の祀守中国で日							
遂げたい 状態)										
,,										
3. 前年 原 (1)活動		舌動及び費用]対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ 活動指標	ータ及び 単位	が事業費の R3	推移 R4	R5		
活動実績 (R5年度に					件	92	58	33		
	ᅔᄔᄔᄱᄝᄼᅔᄔᇬᄭᄧᅉᇬᄝᄔᄁᆥᇎᇊᄀᆂᄁ			が水分の田田川数	- ' '	32	30	33		
	※森林経営	森林法に基づく森林の伐採等の届出及び許可事務 ※森林経営計画に伴う届出を除く ・普通林 … 届出10件								
行った主な活動内容)	•保安林 ··	· 伐採許可 8	3件、形質変更許可 7件、伐採協議 1	事業費計	千円	0	0	0		
231.3117	件、形質変	更協議 0件	・、その他(間伐等)の届出 7件	一般財源	千円					
				特定財源(国・県・他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
				(力)文無行兵担)	113				İ	
(3)活動	かによる効果 			(4)事業効果を説明する数 効果指標	で値デー 単位		R4	R5	→ 選択して 指標の性質	
				間伐実施面積(単年度)	中位 ha	R3 343	285	_	指標の注臭 値が大きいほど良い	効果が上がった
			などの災害を防いだり、美しい景観や保健	III IXX CIDENTIA (T T XX)		0.0				
(れる。	易で症(共9つ)	重要な保安林の機能の維持に成果がみら							
/=/	1100									
									<u> </u>	
(-, , , , ,	137 3773F TIME	果(自動判定	Ξ)	-			_			7
費用(R5	とR4の一般		4 15.175	※10万円以上の増減により判断			+1 m / 2 1 / 2 +	効果	timiče ič t	
効果	効果が上が効果は変わ	つに指信数 らない指標数	1指標 0指標		費	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の 指標値増減)	効果が下が	った指標数 指標全体	0指標 効果が上がった		用	費用の増減無し				
(1) 令和		計 事業実施にお	が来る エルラに ける反省点、環境変化や関係者からの意見 適正に行うとともに、森林法や森林の持つ			句上のための				
(2)上語	己反省点及び	グ課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	₽n√D≣₩DD						
	事業の存り	方検討(廢⊩	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)	取組説明						
			事務改善の検討							

令和6年8月9日 作成•更新日

事業名 明るく安全な里山林の整備事業 実施計画事業 総合戦略 該当なし 実施計画事業or一般事業 市長公約 5-(4) 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当あり コンパクトシティ 該当なし スマートシティ 該当なし 1. 基本情報

		部	産業文化ス	ポーツ部	予算中事業名		会計 一般 引		事業計画	単年度繰り返し
	担当組織	課	農山村振興課		明るく安全な里山林の整備事業	予算	款	6	新規or継続	継続事業
		係	森林整備係		切るく女主な主山林の走幅事業		項	2	市単独or国県補助	国県補助事業
j		体系コード	612	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的事業
	政策体系	基本目標	6	美しい自然、環境と調和するまちづくり		事業	開始年度	H20	実施方法	直営
	以東体糸 上	政策	1	環境にやさしいまちづくり	とちぎの元気な森づくり市町村交付金交付要綱	期間	終了年度		事業分類	支援事業
		施策	2	良好な生活環境と豊かな自然環境の保全			-			<u>. </u>

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

事業概要 |とちぎの元気な森づくり県民税事業を財源として、森づくり団体が事業主体となって里山林を再生させる森林整備事業を実施する。

(2)目的

(3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的	<u> </u>	里山林の整備面積	ha	100	100	100	100	100
(本事業に	里山林の持つ景観保全機能や自然とのふれあい機能の向上、農							
よって成し 遂げたい	作物の野生獣被害軽減を図る							
状態)								
,,								

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(I / / l =				7/20	于未只约	エコン	
			活動指標	単位	R3	R4	R5
			申請団体数	団体	18	17	16
~~! /-							
活動実績							
(R5年度に							
行った主な活動内容)		16団体 99.1ha	事業費計	千円	5,685	5,489	5,223
#JI JL/	森林·山村多面的機能発揮対策事業 	2団体 14.9ha ——般財源	千円	490	354	268	
			特定財源(国·県·他)	千円	5,195	5,135	4,955
			(うち受益者負担)	千円			

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

١			効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
	***		里山林の整備面積	ha	104	103	99	値が大きいほど良い	効果が下がった
	効果説明 /宝号取び	整備面積が減少傾向にあるが、地域の自主的な協力により、自然							
	(定量及び 定性)	環境・環境保全・景観の維持などの多様な効果が表れている。							
	X-11-)								

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
効果	効果が上がった指標数	0指標
(551545	効果は変わらない指標数	0指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	1指標
指標值増減)	指標全体	効果が下がった

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し			0
用	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

近年、有害鳥獣の出現数が増加している。里山林の整備を行うことで、その対策につながることから地域住民の理解と協力により活動の充実を図る。

(2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

□ 事業の在り方検討((廃止、休止、再編成、	受益者負担の見直しなど)
-------------	-------------	--------------

☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

森林の有する機能や役割についての啓発や、事業の周知を充実させ活動団体の増加を検討 する。

事業名	佐野市河	可川愛護会支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし	
1. 基本	1. 基本情報									
	部	都市建設部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し	

		部	都市建設部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
担当組織	課	道路河川課		佐野市河川愛護会支援事業	予算	款	8	新規or継続	継続事業	
		係	管理係		(社封印列川 友 曼云文)及事条	科目	項	3	市単独or国県補助	市単独事業
		体系コード	612	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的事業
	政策体系	基本目標	6	美しい自然、環境と調和するまちづくり			開始年度	H17	実施方法	直営
以來华希	政策	1	環境にやさしいまちづくり	佐野市河川愛護会運営補助金交付要領		期間	終了年度		事業分類	支援事業
		施策	2	良好な生活環境と豊かな自然環境の保全				<u> </u>		

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

事業概要 佐野市河川愛護会に補助金を支出して支援する。

(2)目的

(3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的		愛護会活動実施延長	km	151	151	151	151	151
(本事業に	佐野市河川愛護会を支援することにより、参加団体(町会)によ							
よって成し 遂げたい	る自主的な河川環境保全活動を促進する。							
状態)								
DUBLY								

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

	(市の活動)	活動指標	単位	R3	R4	R5
	佐野市河川愛護会に補助金を支出し、愛護会活動を支援する。 (佐野市河川愛護会の活動)	主な普通河川の延長	km	86	86	86
\	じむきょく:清掃用のゴミ袋配布、ゴミの収集、支部の計画書・実績					
活動実績 (R5年度に	一元八の報言。					
行った主な活動内容)		事業費計	千円	470	470	170
±01 1L1		一般財源	千円	470	470	170
		特定財源(国·県·他)	千円	0	0	0
	今後の活動状況により予算を編成していく。	(うち受益者負担)	千円	0	0	0

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

			効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
±1 cm = 4 nn	*********		愛護会活動実施延長	km	86	86	86	値が大きいほど良い	効果は変わらない
	効果説明	佐野市内の河川の維持保全を期するため、自主的な河川愛護							
	(定量及び 定性)	活動の促進が図られている。							

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用は下がった
効果	効果が上がった指標数	0指標
	効果は変わらない指標数	1指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標値増減)	指標全体	効果は変わらない

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった		0	
	費用の増減無し			
用	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

新型コロナによる自粛期間が明けて、参加団体が増加した。報告書のとりまとめを速やかに行い、適切に補助金を交付していくことが課題である。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

事業の在り方検討	(廃止	休止	再編成	受益者負担の目直	ガど)

- □ 事業効果を上げるための事務改善の検討
- □ 事業費の見直し検討
- □ 業務時間効率化のための事務改善の検討
- □ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

- ①愛護活動参加団体への活動予定表の送付、受け取り
- ②愛護活動参加団体への実績表の送付、受け取り
- ③実績表の集計、補助金額の割り振り
- ④補助金の支給